



題字 大西 一史 市長

### 令和7年度 熊本市PTA協議会定期総会開催

令和6年度熊本市PTA協議会濱石浩二会長の挨拶に始まり、「こ来賓を代表して、熊本市教育長遠藤洋路様よりご祝辞を賜りました。

また、功労者への表彰が行われ、熊本市長表彰4名、熊本市教育長表彰6名、熊本市PTA協議会個人表彰5名と1団体に表彰状が渡されました。その後、総会の成立が宣言【出席者98名 委任状92名 計190名(総数250名中)】とされ、全ての議案が賛成多数により可決承認されました。議案の中の「第3号議案令和7年度役員(案)の可決承認により、令和7年度熊本市PTA協議会会長に、東区湖東中学校PTA会長の友村幸雅氏が就任しました。また、今回の総会では、会則改正を行いました。

①小中学校校長会の代表に、常任理事に入ってもらおう  
②各小中学校の校長先生方に議決権を持つてもらおう  
PTAという組織の中では、先生方も私たち保護者と同じ立場なので、子どもたちのために手を取り合って協力していこう、一緒に盛り上げていこうという思いから、会則改正をさせていただきました。①については今年度より、②については、来年度の総会より願っております。



### 令和7年度 熊本市PTA協議会活動方針

平成28年の熊本地震では、大きな困難の中、学校・地域と一体となり懸命に活動する仲間の姿に、PTAの意義や役割の大きさを再認識しました。近年、子どもたちを取り巻く環境は、大きく変化し続けています。このような現代を生き抜いていく子どもたちの健やかな成長のためには、保護者・学校・地域が「つながり」を大事にし、社会全体で見守り育てることが、とても重要です。また、他市PTAと共に学び、情報を共有しながら幅広く力強い連携を深め合うことで、子どもたちが明るい未来を切り拓くための「かけはし」となるような有意義な活動をしていきます。

### スローガン

「未来ある子どもたちのために  
今、できることを」  
～ 大人も興味を持って楽しく学び、  
成長し続けよう ～

### 活動目標

- 子どもの健全育成
  - 子どもたちが「自ら考え主体的に行動できる人」になるよう育てる
  - 家庭・学校・地域との連携を深め、家庭教育力の向上に努める
- 会員の資質向上
  - 生涯学習の視点に立った研修活動を推進する
  - 会員相互の共通理解を深めるため、情報の共有と発信に努める
  - 単位PTAの充実・活性化を支援する
- 組織運営の改善・充実
  - 教育環境の整備改善・充実を図る
  - 関係諸機関・団体との連携・協力を深める
  - 熊本県PTA連合会との共同事業を継続発展させ、さらなる連携・協力を図っていく



**熊本市PTA協議会**  
 会長 友村 幸雅  
 編集責任者 吉村 俊昭  
 〒861-8074 熊本市北区清水本町16-10  
 熊本市健康センター清水分室新館2F  
 TEL(288)3750 FAX(288)3754  
<http://kumamotocity-pta.net>  
[info@kumamotocity-pta.net](mailto:info@kumamotocity-pta.net)  
 印刷：(株)キャップ TEL(362)3333

### 会長あつらい



熊本市PTA協議会 会長 友村幸雅

日頃より熊本市PTA協議会への活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年度当協議会の会長を務めます、東区の湖東中学校PTA会長の友村幸雅と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今年度の熊本市PTA協議会のスローガンは、「未来ある子どもたちのために今、できることを」大人も興味を持って楽しく学び、成長し続けよう」とさせていただきます。子どもたちのために前向きにPTA活動をするには、私たち大人が活動を楽しむことが大事ではないでしょうか。会員の皆様は、私には、興味が湧く活動に対する必要があり、興味を持てない活動に対する目的や意味意義を持っていないければ、会員の皆様に想いは伝わらないと考えています。そのような考えの中、今年度は熊本市教育委員会地域教育推進課と「家庭と学校との連携について考える会」を5回予定しており、すでに4回の参加を終えました。この会は、現在の社会状況の変化に鑑み、家庭と学校との連携のあり方を考察する必要性を認め、各方面の広く聴衆することで今後の子どもたちにとってのよい関わり方が良いのか考えさせられる機会となっております。また、皆さま

にすぐるアンケート回答のご案内があったかとは思いますが、熊本市PTA協議会としてもこのアンケート回答内容を確認しながら、どのような形が子どもたちと学校そして地域と私たち保護者にとって良い形なのかを追求しながら歩んでいきたいと考えています。学校と子どもたちそれぞれ地域の「かけはし」になるべく取り組みを目指したいと思います。

またアンケートや今年度を通して感じたことが熊本市PTA協議会としてあるべき姿に立っているのか活動をおおして考える場面が多くありました。そのため、会員の皆様には、忌憚なくご意見を出していただき傾聴の姿勢でお伺いし、頂戴したご意見を精査し、今後の活動に生かすべく、皆様の代弁者となるような環境作りを今後目指していきたいと考えています。

さらには、会員の皆様の悩みを会員同士で共有し、皆で多くの意見を出し合いながら、最良の解決策を考えることができる組織となるよう、取り組みたいとおもいます。

熊本市PTA協議会では活動ができない理由を探すのではなく、どうすればできるのか、皆さんにとって有意義な活動とは何か、今ある活動の形を見直しながら、最善のものを共に作り上げていこうと考えております。

最後になりますが、各単位PTAの益々の発展とすべての子どもたちの健やかな成長を切に願うとともに、私たちの活動が「ふるさと」の「へり」になっていることに誇りに思い挨拶とさせていただきます。今年度も大変お世話になりました。



### 令和7年度 会長理事・市P担当副会長理事 合同研修会

6月28日(土)に、令和7年度会長理事・市P担当副会長合同研修会が実施されました。

### 全体会

全体会では、熊本地名研究会副会長の毛利秀士氏が、「地名で知るふるさと熊本の歴史」の演題で、講演頂きました。

今回の講演では、普段何気なく使っている地名に、こんなにも深い意味とその地域の歴史が込められていることに大変驚きました。

講演を通して、地名は単なる場所の呼び名ではなく、自然の特徴・先人の暮らし・地域の歴史が詰まった宝物のような存在だと感じました。これからは、地名の由来を知ること、ふるさと熊本をもっと深く理解し、親しみを持って暮らしていきたいと思えます。

講演を聞く前よりも、身の回りの地名を見る視点が豊かになり、ふるさとへの愛着がより深まった、とても有意義な時間でした。



### 部会

全体会後の会長部会・市P担当副会長部会では、どちらの部会も、日頃のPTA活動における情報交換が行われました。

「PTA役員のなり手不足の解消について」「PTA会員数の増加策はどういったものがあるのか?」「PTA任意加入の説明の仕方」など、色々なテーマでグループディスカッションが盛り上がりました。

参加しているみなさんの学校の規模や環境は様々ですが、同じ悩みや課題を抱える者同士、「子供のため」という熱い思いでつながっていると感じました。

ある学校の会長さんは「親がたのしみ」をモットーに「保護者合唱コンクール」等を開催している学校もありました。

私の学校には無い施策でしたし、自身発想になかったのでとても有意義な時間でした。

今年度1年間どんなPTA活動にしようかワクワクした1日でした。

(花陵中学校 会長 吉村 俊昭)



区	会場	優勝校
中央区	常山小	常山小A
	出水南小	出水南小
	西山中	常山小A
	竜南中	出水中B
区	会場	優勝校
西区	城西小	城西小B
	小島小	池田小
区	会場	優勝校
北区	武蔵小	武蔵小・弓削小
	北部中	楠中・楡木小

区	会場	優勝校
東区	長嶺小	長嶺小
	錦ヶ丘中	湖東中
	西原中	二岡中
	桜木中	画図小
区	会場	優勝校
南区	日吉東小	御幸小
	力合西小	力合西小A
	富合中	富合小A
	下益城城南中	力合小

第52回熊本市PTAソフトバレーボール大会を、9月28日、10月4・5日の3日間にわたり、市内16会場にて101校105チームの皆様の参加のもと開催いたしました。

本大会は「さわやかな汗に会員相互の交流と親睦を深めよう」を合言葉に、長年大切にされてきた熊本市PTA協議会の大きな行事の一つです。試合の勝敗以上に、保護者の皆様と先生方が同じ目標に向かって汗を流し、笑顔で言葉を交わす「交流の場」であることを何より大切にしております。参加された皆様、大会はいかがでしたでしょうか。

コート内で生まれた新しい繋がりが、各学校の結束を強め、今後のPTA活動をさらに活気あるものに

委員長あいさつ

してくれるものと思います。

開催にあたり、会場を提供してくださった各校の校長先生をはじめとする諸先生方、準備から当日の運営まで多大なご協力をいただいた厚生委員の皆様、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

ご参加いただいた全ての皆様、本当にありがとうございました！

(厚生委員長 伊藤 和仁  
城北小学校)

北区・武蔵小学校会場

8校、6チームが集まった北区・武蔵小会場では開会式前の練習から熱気に満ち溢れていました。清水小村山先生の気合いいっぴいの選手宣誓に始まり、最後まで熱いプレーが繰り広げられました。



今年度は大会の開催時期が1カ月後ろ倒しとなったこともあり、練習期間が長く、近隣校との合同練習や練習試合を重ね試合に臨んだチームもあつたと聞いています。日頃は何となくちよつとした距離感のある保護者と先生方が一丸となり、夢中でボールを追いつける姿に応援に駆け付けた家族や先生方も一体となり会場を盛り上げていました。

決勝戦は武蔵小・弓削小合同チーム対清水小A。念願の優勝まであと1勝の清水小Aでしたが、合同チームとは思えないパワフルな攻撃に完敗。優勝は武蔵小・弓削小合同チームでした。当会場では大きなケガや事故も無く令和7年度の市Pバレーは幕を閉じました。大会の開催にあたり、コートの設営や駐車場の誘導、審判など、多くの参加者が学校の枠を越えて協力し大会を作り上げていく姿を見かけました。勝ち負けにこだわらず、和気あいあいとバレーボールを楽しむ選手の姿は、会員相互の交流と親睦を深める事を目的とする本大会の意義を存分に感じられる大会でした。また来年も市Pバレーでお会いしましょう！

(清水小学校 会長 志田 賢二)

市Pバレー開催！ご参加ありがとうございました！

小・中学生総合保障制度

ご案内 [こども総合保険]

たくさんの安心で大切なお子さまの成長をサポートします



**賠償補償**  
お友達にケガをさせる  
自転車事故

**身体の補償**  
通学中のケガ  
日常生活のケガ

**養育費の補償**  
扶養者が事故で重度の後遺障害

補償内容について3分間の動画にまとめました  
どのような補償があるか、ご確認ください

■制度に関するお問合せ先 (取扱代理店)

株式会社コーリン (熊本市PTA協議会 保障制度事務局) 0120-228-553

〒810-0022 福岡市中央区薬院4丁目3-5 セレス薬院5F https://www.pta-corin.com/

■引受保険会社 (幹事会社) AIG損保 (非幹事会社) 東京海上日動、損保ジャパン、三井住友海上、CHUBB

○この広告は「小・中学生総合保障制度(こども総合保険)」の概要についてお伝えしています。

ご加入の際は必ずパンフレット及び重要事項説明書をご覧ください。

S-260445(2026-12)

P災コース

- 小中学校の児童生徒 ..... 500円(年額)
- 高等学校の生徒 ..... 800円(年額)
- 部活動指導者 ..... 500円(年額)

安互コース

- PTA会員(保護者・教職員等) .. 150円(年額)
- PTA活動の指導者・支援者 .. 150円(年額)

給付対象となるのは以下の通りです

- P災コース 児童・生徒**
- PTA活動に参加中の事故によるけが・急性の疾病(死亡、後遺障害、負傷、突然死、交通事故)
  - 学校での事故によるけが・急性の疾病のうち障害が残るもの・死亡に至ったもの、交通事故、歯科保険外治療が必要なもの
- 安互コース保護者(PTA会員)**
- PTA活動に参加中の事故によるけが・急性の疾病(死亡、後遺障害、負傷、突然死、交通事故)
  - 学校行事に参加中の事故によるけが・急性の疾病(死亡、後遺障害、負傷、突然死、交通事故)

詳しくはホームページをご覧ください

★手続きは学校PTA共済担当者へご連絡ください。

財熊本県PTA教育振興財団 〒860-0842 熊本中央区南千反畑町3-7 熊本県総合福祉センター4F

熊本県PTA共済

検索



ホームページ

熊本県PTA共済のご案内

P災コース(児童・生徒)  
R5年度県内加入者  
約177,000名

安互コース(保護者)  
R5年度県内加入者  
約140,000世帯

こんな時、安心です!

学校で、部活動で

登下校中で

PTA活動で

事故によるけがなどにあつたとき 助けとなるのがPTA共済です

熊本県PTA共済

検索



ホームページ

# 令和7年度 会長懇談会

9月20日(土) @山本屋にて令和7年度会長懇談会を開催されました。

前半は全体でPTA活動の発表と共有会、後半は事前のアンケートを元に同じテーマごとのグループワークを行う構成でした。

前半の全体会では託麻南小の坂本会長と富合中の梅田会長から自学校の取り組みについて発表がありました。

託麻南小学校では2024年から学校でヤギの飼育を始めているみたいです。

子供たちに飼育を通して「命の大切さや尊さを学ぶ」という思いで、学校とPTAを中心に様々な課題を乗り越えてこられたみたいです。

富合中では夏まつりの際に保護者でお化け屋敷を開催されているみたいです。

毎年大人気みたいで長蛇の列ができるほど子供たちがたのしんでいるとのことでした。

2校とも子供たちの「ワクワク」と「成長」を実現できるとも素晴らしい施策だと思いました。他の参加された会長たちも興味深々で、さまざまな質問が飛び交い、大盛況でした。

後半パートはテーマごとにグループワークを実施しました。

「PTA会員数を増やすにはどうしたらいいか?」「私の学校のイベント聞いてください!」「PTAの今後の在り方について」など、新入の会長さんからベテランの会長さんまで一緒に白熱したグループ



ワークを行っていただきました。

新人会長さんからは「初めての会長で誰に聞いていいかわからず、悩んでいました。解決しました!」等の意見も出て、とても有意義な時間でした。

(古町小学校 会長 内村 由起)



# 会計実務研修会

6月11日(水)熊本市中央公民館にて、熊本市PTA協議会主催「会計実務研修会」を開催しました。講師には、武部道孝税理士事務所より山下重氏をお招きしました。

山下氏は、「基本的な考え方として、分かりやすく簡潔に、誰が見てもお金の流れが分かるようにする。明月会計を行うことが原則である。」と説明されました。また、PTA会計用語の解説、一般会計と特別会計の違いなどについてもお話しいただき、参加者はメモをとりながら真剣に聴き入っていました。

質疑応答では、書類の保管期間についての質問をはじめ、卒業証書の印刷代は学校とPTAどちらのお金で賄うものかなど、「単P」ごとで異なるお金の出し方についての質問が出ました。

各テーブルごとのグループトークの時間では、それぞれの学校間で情報交換が行われ、時間が足りないほどの盛り上がりが見られました。



今後PTA加入数が減っていくと思われ、どのように運営していくのか、みんなが納得できるお金の使い方ができるよう、役員会などできちんと話し合いを行っていく事が重要なことだと改めて思いました。

(杉上小学校 会長 塚本 綾)

# 「第73回 日本PTA全国研究大会 石川大会」 「第81回 日本PTA東海北陸ブロック研究大会」

## サステナブルな未来づくりのために ～創造と協働を石川から～

石川大会が8月22日、23日の2日間で行われました。熊本市PTA協議会からは13名が参加し、各分科会・全体会での講演・ディスカッションを拝聴し、セッションの間には全国のPTA関係者との意見交換の時間も設けられ、さまざまな情報交換が行われました。

大会スローガンである「サステナブルな未来づくりのために」創造と協働を 石川からを基に、私たち大人が予測できない変化の中でも持続可能(サステナブル)な未来を描いていく。家庭・学校・地域の橋渡し役として、PTAは子供を育てる理想的な環境を実現していくための大事な組織ということを考え、予測できない変化に対応するために自らの学びをアップデートする為に全国大会での学び、全国のPTA会員の皆様が日々の活動の活性化に向けて様々な実践や情報を共有する大変貴重な場になるように開催されました。

全体記念講演では、石川県浅野大介副知事より、「能登の創造的復興と学びの環境 ～学習環境の魅力化あつてこそその復興～」として、能登の復興に向けて策定された「石川県創

造的復興プラン」施策の4つの柱である①災害に強い地域づくり②特色ある生業(なりわい)の再建③暮らしとコミュニティの再建④誰もが安心・安心に暮らし、学ぶことができる環境・地域づくりについて講話いただき、生業(なりわい)の再建とともに、子どもたちの学びの環境再建・魅力化なくして持続可能な復興は成立しえない、災禍前に戻すというより、先を見据えた未来志向のものであるとお話しを拝聴しました。

浅野副知事が2019年当時、経産省の立場から文科省とともに「GIGAスクール」を推進した頃に構想した「未来の教室の姿、本当に変わり始めた学校の今、そして教育環境の魅力化が人口流出を止め、新たな人口流入をもたらす実例など全国各地の小さな町で進む教育環境魅力化の話などあり、それは能登に限ったことではなく、今後少子化が進むであろう全国各地においても通ずることはないかと示唆に富んだお話をいただきました。

すべての講演内容を書くことはできませんが、災害を経た石川県で学べたこと、同じ災禍を受けた都市だ



からこそよりわかるPTAを通じた支え合いの心、つながりの大切さ、そして子供たちの未来のために何を残していくべきか、私たちは改めて見つめ直す時にあると感じました。2026年は奈良大会、2027年には熊本市大会が予定されています。

今回の石川大会では、知見を広げるとともに、大会運営を参考にできたことも大きな成果でした。

(城西小学校 会長 北川 哉)

8月 22金 23土



### 家庭と学校、 そして地域を つなぐ

令和7年度、熊本市立城西小学校PTA会長を務めさせていただいております北川です。小学校PTA会長として10年、市PTA協議会に関わらせていただき理事から理事と2年目を迎えました。長くPTA活動に携わる中で、家庭と学校、そして地域との関係性について深く考える機会が増えてきました。

家庭保護者と学校の連携が必要であるという思いは、多くの保護者が共有しているものだと感じています。しかし一方で、関わり方や考え方には様々な違いがあり、その温度差が生じているのも現実です。その温度差をどのように埋め、互いに理解を深めていくかが、PTAを運営する協議会に求められる重要な役割であると考えています。

近年、PTAをはじめとする保護者組織に対して否定的な意見があることも事実です。その背景には、これまで十分な対話が行われてこなかったことが、家庭と学校の連携の現状を招いた一因としてあるのではないのでしょうか。今年度開催されている「家庭と学校との連携を考える会」は、まさにその課題に向き合う素晴らしい取り組みであり、対話の大切さを改めて実感しました。

家庭と学校の連携は、これからの社会において必要とされる「任意的な活動による社会的協力」に直結していると感じています。時代とともに人と人との関わり方が変わるのには自然なことであり、その変化を受け入れながら、義務教育における教育を受ける権利と受けさせる義務、親の責務、強制と任意のバランス、協力の意義、多数決や民主主義といった多様な価値観の中で、私たちは生きていかなければなりません。

PTA活動を通して、新たな時代に沿った人と人との関わり方とは何か、人がより良く生きていくために必要なことは何かを考える一つのきっかけになればと願っています。家庭・学校・地域が対話を重ね、互いを尊重しながら歩んでいくことが、未来を担う子どもたちの成長につながることを信じています。

熊本市PTA協議会副会長  
西区代表幹事 北川 哉  
(城西小学校)

### 大江小の紹介

中央区「大江小学校」

熊本市立大江小学校は、熊本市中央区大江に位置する、長い歴史と豊かな教育環境を持つ公立小学校です。熊本市中心部にありながらも落ち着いた雰囲気のある街でもあり、子どもたちが安心して通える学習環境が整っています。

大江小学校は、明治初期に創立された歴史ある学校で、地域とともに歩んできた伝統を大切にしながら、現代的な教育にも積極的に取り組んでいます。校内には大学や文化施設、公共交通機関などが揃い、都市部ならではの利便性と学びの機会に恵まれています。

学校教育目標には、「子どもが笑顔で活躍する学校づくり」が掲げられ、確



今年も開催みんな  
大好きどんごや  
東区「西原小学校」

西原小学校は、今年度で創立59年を迎えました。地域に根ざした教育を大切に、子どもたちがのびのびと成長できる環境づくりに取り組んでいます。

本校では、「誠実努力・友愛を訓に掲げ、創造性と豊かな人間性を育むこと」を目指した学校教育を実践しています。

西原校区の大きな特徴は、地域との強い連携です。年間を通じて、地域の方々と協力しながらさまざまな行事や体験活動に子どもたちが参加しています。本年1月10日には、毎年恒例のどんごやが開催されました。



かな学力と豊かな心、健やかな体を育てることが重視されています。特に、挨拶や思いやりを大切にすることで、自ら考えて学び合う姿勢、主体的に行動する力の育成に力を入れています。

大江小学校では、特別活動と道徳の学習を教育活動の中心に位置づけ、子どもたち一人一人が「正しさ」「美しさ」について考える機会を多く設けています。異学年と関わる活動や行事も盛んで、協調性や思いやり、社会性を育てる実践的な学びが行われています。

また、ICT機器を活用した授業改善や、生活リズムの指導、整理整頓された教室づくりなど、学びに集中でき



PTA 主導のもと、前日の「竹切り」では、保護者地域ボランティアの方々と6年生全員が力を合わせて竹を切り出し、学校まで運搬しました。

当日は、保護者や消防団の皆さんの協力により、高さ20メートルの竹の檜が組み上げられ、点火の瞬間には集まった児童や保護者から「わー!」「おー!」という大きな歓声が響き渡りました。

今後とも西原小学校では、学校生活を通じて子どもたちの未来がより豊かになるよう、学校保護者・地域が一体となって協力してまいります。

(西原小学校 副会長 吉武 諒)

環境整備にも継続的に取り組んでいます。保護者や地域と連携した行事や体験活動も多く、地域ぐるみで子どもを育てる温かい雰囲気根付いています。

### 五霊中の紹介

北区「五霊中学校」

熊本市立五霊中学校は、昭和22年の創立以来、地域に根ざし、多くの卒業生を輩出してきた伝統ある学校です。校是「再び帰らぬ時なれば、このひと時に命燃やさん」のもと、生徒一人ひとりが限られた時間を大切にしながら、学びや行事、部活動に全力で取り組んでいます。

日々の教育では、学力の向上だけでなく、思いやりや責任感、自主性を育むことを重視しています。地域や保護者とのつながりも深く、支え合いながら、生徒が安心してのびのびと成長できる環境が整っています。

(五霊中学校 副会長 柳田 貴子)

### 「天明カタリバ」

南区「天明中学校」

令和7年7月11日の授業参観で、3年生の「総合的な学習の時間」の一環として、地域の未来を考える対話の場「天明カタリバ」が開催されました。

「天明カタリバ」が開催されました。保護者の他、熊本市教育委員会教育改革推進課・地域教育推進課、天明まちづくりセンターの方々、地域住民の皆様など多数の参加がありました。

生徒たちは「天明を創る」をテーマに「未来と地域をつなぐ天明共創プロジェクト」に取り組んでいます。

当日は、今後の天明地域の4小学校の閉校後



### PTA新聞を リニューアル 西区「中島小学校」

中島小学校は、田畑や川に囲まれた自然豊かな環境の中にある小学校です。四季の移ろいを身近に感じながら、子どもたちはのびのびと学校生活を送っています。本校では、近隣の「社会福祉法人ゆたか学園」との交流を大切に、米づくりをはじめとした体験活動を通して、食の大切さや働く喜び、思いやりの心を育んでいます。自然・地域・家庭



の活用について、保護者や地域住民の方々との対話をしながらアイデアを出し合いました。子どもと大人のふれあいの場所、自然体験施設などいろいろな意見が出されました。

地域を支える一員として意見を交わし合う生徒たちの姿が頼もしく、天明の未来がきっと明るいものになるだろうと思えた時間でした。

(天明中学校 副会長 原口 徳)



がつながり、子どもたちの健やかな成長を支える学校です。また、PTA新聞をPTA活動や先生紹介をメインに掲載し、デジタル化するなど、大幅にリニューアルし好評を得ています。

(中島小学校 会長 木村 州作)



### 編集後記

前期は定期総会から始まり市PTAレー等様々なイベントが行われました。全イベントを掲載はできませんでしたが、各単Pの今後のPTA活動の参考になれば幸いです。

最後になりますが前期の発行が遅れてしまい、ご心配やご迷惑をお掛けし大変申し訳ございませんでした。皆様にお詫び申し上げます。また、ご協力頂いた皆様、ありがとうございます。

- 広報委員長 吉村 俊昭(花陵中)
- 143号編集委員(順不同/敬称略)
- 内村 由起 (古町小)
- 北川 哉 (城西小)
- 木村 州作 (中島小)
- 出田真都夏 (芳野中)
- 原口 徳 (天明中)
- 柳田 貴子 (五霊中)
- 砂辺 直也 (大江小)
- 吉武 諒 (西原小)
- 塚本 綾 (杉上小)
- 志田 賢一 (清水小)